



環境省

# 持続可能な生産消費形態のあり方検討会 (第2回)

令和元年12月17日  
環境省大臣官房 環境経済課  
課長補佐 安田 将人



# 学校教育における環境教育の促進

学習指導要領における環境に関わる内容の充実

社会科や理科、家庭科など関連する教科を中心に、環境教育に関わる内容を充実  
(平成29年3月に小・中学校学習指導要領を改訂、平成30年3月に高等学校学習指導要領を改訂)

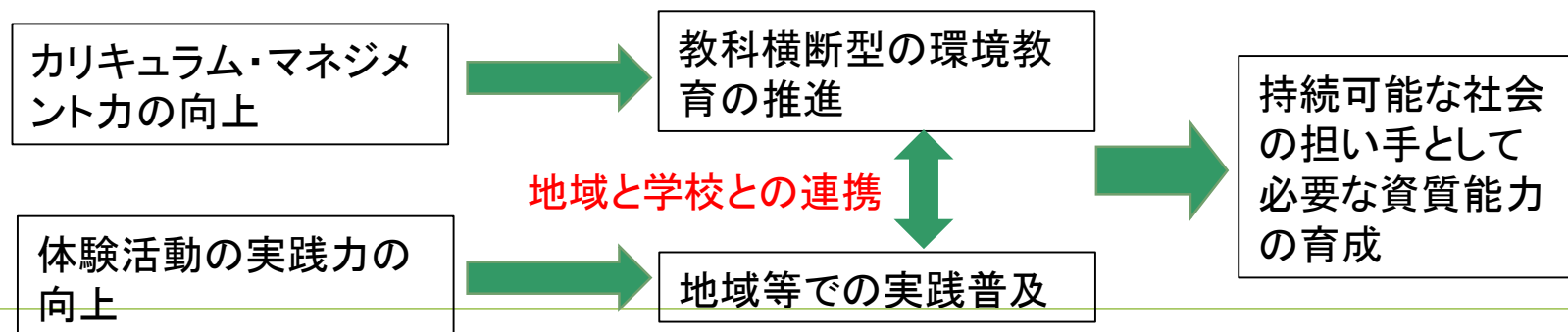
学校教育等の充実のための研修の実施・情報の提供等 (文科省と環境省の連携による取組)

## 資料「学ぶをつなげる環境教育～ESDの視点から環境教育を捉えなおす～」

新たに発達段階に応じて環境教育において育成を目指す資質・能力等を整理するとともに、教科横断型の環境教育の実践を支援する資料。[https://www.eeel.go.jp/lib/pdf/H30\\_manabi.pdf](https://www.eeel.go.jp/lib/pdf/H30_manabi.pdf)

## 教職員等環境教育・学習推進リーダー育成研修

文部科学省の協力を得て、教員や地域の環境学習指導者等を対象として、発達段階や現場のニーズに応じた多様な研修の機会を提供し、持続可能な社会の担い手として必要な資質能力を育む環境教育を教育現場で実践・推進していくリーダー人材を養成。



# 体験の機会の場の認定制度

- 民間の土地・建物の所有者等が提供する**自然体験活動等の体験の機会の場**について、都道府県知事等が、一定の基準に照らして**認定・周知する制度**（認定に際しては教育委員会との協議が必要）。
- これまでに17の施設・団体が認定を受け、体験型の環境学習の場を提供している。年間約26,000人が利用

【明治大学黒川農場】 アグリサイエンスアカデミー



## <ねらい>

農業や食、環境保全等に関することを幅広く取り上げた講義と有機栽培による野菜作りを播種（はしゅ）から収穫・加工まで一貫して体験できる実習を行う。

こうした講義、実習を通して、野菜を作るための環境や気候等の自然環境問題にも広く目を向けることにつながる。

【東京ガス株式会社】 エコ・クッキング



## <ねらい>

### ① 買い物

生産・収穫・運搬時のエネルギー消費量が少なく、新鮮でおいしい食材を選ぶことができる。

### ② 調理

エネルギーと水の節約、食材を無駄にしない工夫と、五感を働かせながら段取りよく、安全においしい料理を作ることができる。

### ③ 食事

盛りつけなどを工夫し、五感を使って味わい、感じたことを言葉で表現する。食べ残しなどの廃棄を増やさない。

### ④ 片づけ

節水と水を汚さない洗い方、省エネになる生ごみの捨て方ができる。

# エシカル消費と環境政策

## 課題・キーワード

生産

- ・ 自然資本の保全
- ・ 過剰な生産
- ・ 認証ラベル
- ・ 有機農業／自然栽培
- ・ 水／土壌／大気
- ・ 気候変動
- ・ 人権

加工

- ・ 省パッケージ
- ・ 高付加価値化

流通

- ・ 地産地消
- ・ 輸入

販売

- ・ 賞味期限／消費期限
- ・ 顔が見える商品
- ・ 消費者への訴求
- ・ 認証品の販売

消費

- ・ エシカルを意識
- ・ 食品ロス
- ・ 消費者教育

廃棄

- ・ リサイクル
- ・ バイオマス利用
- ・ 海洋プラスチック問題

## 環境政策

### 生物多様性の保全

- ・ 生物多様性の主流化
  - ・ 里山保全
  - ・ 獣害対策
  - ・ 外来種対策
- など

### 水・大気環境の保全

- ・ バーチャルウォーター
  - ・ 水質保全
  - ・ 大気環境保全
  - ・ 土壌汚染対策
- など

### 気候変動対策

- ・ 脱炭素社会の構築
  - ・ 省エネ
  - ・ 再エネ
  - ・ 気候変動への適応対策
  - ・ "COOL CHOICE"
- など

### 資源循環政策

- ・ "プラスチックスマート"
  - ・ 食品ロス対策
  - ・ リサイクル
- など

